

元号寺シリーズ（その5）

寛永寺（天台宗別格大本山・東京都台東区）

寛永寺は天台宗の別格大本山のお寺です。

寛永2(1625)年に、徳川幕府の安泰と万民の平安を祈願するため、江戸城の鬼門(東北)にあたる上野の台地に、慈眼大師・天海大僧正によって建立されました。

後には第四代将軍・徳川家綱公の霊廟が造営され、将軍家の菩提寺も兼ねるようになりました。また東叡山主を皇室から迎えた(輪王寺宮)ことで、江戸時代には格式と規模において我が国随一の大寺院となったのです。

しかし幕末の上野戦争により、敷地の大部分が上野公園となりました。また関東大震災や太平洋戦争の被害もありましたが、戦後は新たに霊園を造営し一般のお檀家さまを受け入れるなど、開かれたお寺としての役割を果たすことを目指しています。



清水観音堂



寛永寺（根本中堂）



開山堂（両大師）

住職レター

例年ですと、十二月二日の善教寺報恩講法要に向けて、いろいろ準備に奔走している頃です。しかし、もう既にお知らせの通り、今年の善教寺報恩講は法要取り止めとなりました。報恩講法要は勤めませんが、行うべきことは、例年通りにやっております。ここにお寺が存在している限りは、日々の当たり前のことを、普通にちゃんと行う、という感じでしょうか。

コロナ禍で、世の中の事象が一変した、時代が変わった、と世間では言われ、私自身も、お寺を取り巻く環境に変化が・・・と思わなくてもありませんが、人間の本質は、お釈迦様の時代、約二千五百年前と大して変わっていない気がします。

それと、不要不急という言葉、コロナ禍でよく聞くようになりました。コロナ禍を通して、私たちの生活は、意外と不要不急な事ばかりだった、という事に気付かせて貰ったような気がします。

では、人間の
本質とは、私
たちの生活で本
当に必要で緊急
な事とは、何で
しょうか？
この問いに答
えを頂けるのが
仏教であり、そ
の場所が寺の本
堂です。



令和3年版 善教寺法要案内パンフレット表紙写真